

成人看護方法論Ⅰ

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

本科目は、慢性期・終末期にある対象に対する成人看護に必要な基礎的看護技術について学ぶ。慢性疾患を抱える対象者の病態、検査・治療の目的および心理を理解し、対象者が自己管理能力を高めるための看護を学ぶ。また、終末期にある対象者とその家族の特徴を理解し、看護援助の方法を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

慢性期の疾患をもちながら生活する成人期の対象がもつ諸問題の特徴を理解し、関連する機能障害、検査、治療、生活への影響について説明できる。また、慢性期・終末期にある患者・家族に必要な看護に関して、アセスメントに必要な情報を収集し看護問題の抽出、具体的なケアプランの立案とその評価方法を理解し身体・心理・社会・人生の行路の視点から考え支援に必要な理論を活用した援助の具体的な方法を説明できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4,5

・到達目標（SBO）

1. 慢性期・終末期の基本概念を説明できる。
2. 慢性疾患をもつ人および終末期にある人とその家族の特徴について説明できる。
3. 慢性期・終末期の各期に応じて変化する治療や日常生活への影響に対する看護を理解できる。
4. 慢性期・終末期にある患者とその家族に起こりやすい健康問題と看護の特徴を理解できる。
5. 慢性期・終末期の状態に応じた看護過程の展開について事例を通して理解できる。
6. 慢性期・終末期看護の看護支援を考察することができる。
7. 慢性期・終末期看護の看護支援を考察することができる。

・授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/18	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	慢性期看護の考え方 (1章) ・慢性期の基本概念を説明できる 講義・ディスカッション
4/18	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	慢性期にある人の特徴 (2章) ・慢性疾患をもつ人の特徴を理解し特徴を説明できる 講義・ディスカッション
4/23	火	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	慢性期にある人への看護援助と倫理課題 (3章、倫理と役割) ・成人看護に使用される理論・モデルを理解し説明できる ・グループワークや事例をもとに、慢性経過をたどる健康障害をもつ人の看護における倫理課題を説明できる
4/26	金	1	共通基盤看護学講座	横田眞理子特任講師	慢性の呼吸機能障害をもつ患者の看護(4章) ・講義、DVD視聴後のディスカッションにより疾患の特徴を理解し、看護上の問題点を挙げる事ができる
5/7	火	2	共通基盤看護学講座	横田眞理子特任講師	慢性の循環機能障害をもつ患者の看護 (5章) ・講義、DVD視聴後のディスカッションにより疾患の特徴を理解し、看護上の問題点を挙げる事ができる

5/9	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	<p>脳神経系の慢性疾患をもつ人のケア 脳梗塞 パーキンソン (6章)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳神経系の慢性疾患の身体的、心理的、社会的特徴を説明できる。 ・脳神経系の慢性疾患の看護問題を明らかにするためのアセスメント項目と患者・家族への具体的な看護活動について説明できる 講義・グループワーク
5/14	火	2	共通基盤看護学講座	横田 真理子 特任講師	<p>脳神経系の慢性疾患をもつ人のケア ALS 重症筋無力症 (6章)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳神経系の慢性疾患の身体的、心理的、社会的特徴を説明できる ・脳神経系の慢性疾患の看護問題を明らかにするためのアセスメント項目と患者・家族への具体的な看護活動について説明できる 講義・グループワーク
5/16	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	<p>慢性期の栄養摂取・消化機能障害をもつ患者の看護 (7章)</p> <p>(胃・十二指腸、肝炎、肝がん、潰瘍性大腸炎 大腸がん等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾患の特徴と看護上の問題点を挙げるができる ・教科書の該当ページを熟読し、該当疾患の病態生理、症状、検査、治療と看護の要点をまとめる
5/17	金	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	<p>慢性の代謝機能障害をもつ患者の看護 (8章)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病患者の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる ・糖尿病合併症の病期・治療について理解できる ・心身のセルフモニタリングの教育と日常生活における教育的支援および援助について説明できる 講義・グループワーク

5/21	火	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	<p>慢性の感覚機能をもつ患者の看護（15章）、糖尿病網膜症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インスリン療法・食事療法の目的・適応を説明できる ・低血糖についての指導内容を理解できる ・患者体験を通して、インスリン療法を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を説明できる ・食事療法およびインスリン自己注射指導の指導方法と注意事項を説明できる
5/23	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	<p>慢性の内部環境調節障害をもつ患者の看護（9章）（腎疾患 慢性腎不全） 慢性の性機能障害をもつ患者の看護（14章）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾患の特徴と看護上の問題点を挙げるができる ・教科書の該当ページを熟読し、該当疾患の病態生理、症状、検査、治療と看護の要点をまとめる
5/27	月	1	共通基盤看護学講座	横田 眞理子 特任講師	<p>慢性の造血機能障害（10章）、慢性の生体防御機能障害(11章)をもつ患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義、DVD 視聴後のディスカッションにより疾患の特徴を理解し、看護上の問題点を挙げるができる
5/30	木	3	共通基盤看護学講座	横田 眞理子 特任講師	<p>慢性の排泄機能障害をもつ患者の看護（13章）（前立腺） 自己免疫系の疾患をもつ患者の看護（関節リウマチ SLE）（12章）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義、DVD 視聴後のディスカッションにより疾患の特徴を理解し、看護上の問題点を挙げることができる

5/31	金	1	共通基盤看護学講座	横田 真理子 特任講師	慢性疾患の緩和ケア・家族ケア ・ 講義、事例についてグループワークを行い、成人期における慢性経過を経て終末期に至る患者の看護援助の方法を挙げることができる
6/4	火	2	共通基盤看護学講座	横田 真理子 特任講師	がん看護（放射線治療・化学療法を受ける患者の看護） ・ 講義、事例についてグループワークを行い、成人期におけるがんの治療期における看護の特徴を挙げることができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	慢性期看護論 第3版	鈴木志津枝・藤田佐和 編集	ヌーヴェル ヒロカワ	2014
教	看護学テキスト NiCE 成人看護学 成人看護学概論 改訂第2版	林直子ほか編集	南江堂	2014
教	系統看護学講座 別巻 緩和ケア 第2版	恒藤暁・内布敦子 編集	医学書院	2014
教	系統看護学講座 別巻 がん看護学 第2版	著者代表 小松浩子	医学書院	2017
参	看護学テキスト NiCE 成人看護学 慢性期看護 改訂第2版	鈴木久美 他編	南江堂	2015

・成績評価方法

筆記試験 80%、課題レポート 20%により総合的に評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

成人期の対象を看護するためには、対象者を取り巻く家族環境や社会・医療情勢などの背景要因の分析ができる能力が必要です。日ごろから新聞に目を通すことや家族や自身の生活行動に関心を寄せることで講義内容の理解が深まります。

講義・演習の前には必ず関連する既習科目を復習しておくこと。シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、事前学習については各回最後に提示する次回講義の疾患について教科書の該当ページを熟読し最低 30 分以上の事前学修（予習・復習）を行うこと。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
提出されたレポートは採点后、コメントを付して返却する。
レスポンスカードを活用し、質問内容には次回講義時にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 成人看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影